

令和8年度

運営に関する計画
(年初)



大阪市立瓜破西小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、「確かな学力の向上を図り、豊かな心と健やかな体を育成する」を学校教育目標に掲げ、目指す子ども像を「主体的に学び、考え、ねばり強く取り組む子」「互いの良さを認め合い、自分と友達を大切にする子」「健康や体力の向上に努める子」として、主体的に学び自他を大切にしている児童の育成に取り組んでいる。児童は素直で明るく人懐こく、教師の指導や支援を受けながら課題に取り組み、実行しようとする姿勢が見られる。

特に、広い運動場や豊かな自然を活かした「アトリパーク」における動物介在教育や栽培活動、児童や保護者・地域から高い評価を得ている「和太鼓クラブ」の活動は、本校の大きな特色である。これらの取組は、児童に自己実現の機会と自信を与え、向上心や達成感の育成に寄与するとともに、精神面の充実を通して学力向上の基盤を支えている。

学習面では、算数科の研究を通して「思考の可視化・共有」を図る協働的な学びが定着し、児童同士が互いの考えを交流する土壌が培われている。また、ICT環境についても、学習者用端末の活用が日常的に行われ、全校的に定着してきている。

生活面では、組織的な生活指導体制の構築や掃除点検表の導入により、校内美化への意識向上が成果として表れている。一方で、一部の児童には基本的な生活習慣の定着に課題が見られ、学習の土台となる規律意識の向上等を一層徹底していく必要がある。

いじめについては、組織的な対応体制を維持しつつ、児童が知識としての理解を「自分事」として捉え、適切な行動を選択できるよう、規範意識の育成を継続していくことが求められる。また、読書習慣の形成や自発的なあいさつの習慣化についても、引き続き重要な課題である。

今後は、ICT活用の量的充実から質的向上へと発展させ、児童の思考をより深める学びの実現を図るとともに、算数科の研究成果を他教科へ波及させていく必要がある。さらに、地域との連携についても、これまでの良好な協力関係を基盤に、児童が地域の一員として貢献することが実感できる双方向の交流を推進し、自己有用感の育成を図る。

また、働き方改革の推進により教員の勤務環境は改善され、若手教員を組織的に育成する体制も整いつつある。今後も改善された環境を維持しながら、特定の教員に負担が偏らない持続可能な組織体制を構築し、教育活動のさらなる充実を図っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

1. 令和 11 年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、87%以上にする。
2. 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。
3. 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1. 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
2. 令和 11 年度の小学校学力経年調査における、国語および算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
3. 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

1. 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を、80%以上にする。
2. 時間外勤務時間数が年720時間を超える教員を毎年ゼロにする。
3. 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、75%以上にする。
4. 令和 11 年度のカリキュラム・マネジメントチェックシートの「教育活動の質の向上につなげるため、『教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる』『学校教育の効果を常に検証して改善する』『地域と連携し、よりよい学校教育をめざす』カリキュラムマネジメントの3つの側面をすべて実行できていますか」に対して肯定的に回答する割合を90%以上にする。

2 中期目標達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

1. 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
2. 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善割合を増加させる。
3. 小学校学力経年調査の「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
4. 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

1. 小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。
2. 小学校学力経年調査における、国語および算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
3. 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

1. 小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を、75%以上にする。
2. 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。
3. 小学校学力経年調査の「読書は好きですか。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。
4. カリキュラム・マネジメントチェックシートの「教育活動の質の向上につなげるため、『教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる』『学校教育の効果を常に検証して改善する』『地域と連携し、よりよい学校教育をめざす』カリキュラムマネジメントの3つの側面をすべて実行できていますか」に対して肯定的に回答する割合を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立 瓜破西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。 2. 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善割合を増加させる。 3. 小学校学力経年調査の「キャリア教育を通して、自分の将来について考えることができた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。 4. 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめや不登校に対する予防的な取組と組織的な対応の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや課題のある児童の問題行動を把握し、解決するための組織をつくり、月1回程度、生活指導全体会を設け、情報共有をする。また必要に応じて、SCやSSW、SSR、関係機関と連携して対応する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】 キャリア教育・ESDの推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESD(持続可能な社会を形成するための人材を育成する教育)の年間計画のもと、児童の実態に応じた出前授業や校外学習などの取組を学期に1回以上行う。 	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 自己肯定感の向上を目指す取組の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回程度、自分や友だちのいいところを見つけ、伝え合う活動を設ける。 ・学期に1回程度、クラスや学年だけでなく、ペア学年や縦割り班で関わる異学年交流を通して、学校全体で伝え合う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

(様式2)

大阪市立 瓜破西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、70%以上にする。2. 小学校学力経年調査における、国語および算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。3. 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 「主体的・対話的で深い学び」の取組の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目的を明確にしたペア交流やグループ活動等を1単元に1回以上行う。	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 教育の土台である言語力の育成を図り、重点支援校としての取組の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2、3年生を対象とした放課後学習を週2回程度行う。	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 運動意欲の向上と、運動習慣の定着を図る取組の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ol style="list-style-type: none">1. 外遊び週間やラジオ体操、かけあしタイムやおおなわタイム等、全校的な体力向上と運動習慣の定着を図る取組を年に3回程度行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点

大阪市立 瓜破西小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>1. 小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を、75%以上にする。</p> <p>2. 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。</p> <p>3. 小学校学力経年調査の「読書は好きですか。」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、70%以上にする。</p> <p>4. カリキュラム・マネジメントチェックシートの「教育活動の質の向上につながるため、『教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる』『学校教育の効果を常に検証して改善する』『地域と連携し、よりよい学校教育をめざす』カリキュラム・マネジメントの3つの側面をすべて実行できていますか」に対して肯定的に回答する割合を85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)】 授業でのICT機器活用の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書、デジタルドリル、協働学習支援ツール等を、児童が1日1回以上活用する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織作り】 働き方改革の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 読書活動の推進</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館の団体貸し出しや読み聞かせなどの読書活動を、各学年で年間1回以上行う。 	

<p>取組内容④【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織作り】 カリキュラム・マネジメントの推進、地域連携の充実</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の協働活動を進め、瓜西フェスタ等の地域交流型の行事を学期に1回以上実施する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>後期への改善点</p>	